

## プロジェクトマネージャ 解答例

### 【午後 I】

#### 問 1 (50 点)

##### 設問 1 (8 点)

GMP の要求を満たしているかの認証を受ける期間を短縮できる。

##### 設問 2 (8 点)

T 社だけで作業すると作業工数が増えるうえに、検証段階での確認工数も増えるため

##### 設問 3 (20 点:(1) 8 点, (2) 6 点×2)

- (1) 差異一覧をまとめる作業はスコープ確定の前提作業で、K 社主体で実施すべきだから
- (2) (リソース) K 社の作業員や増設工事の担当者が参加できない  
(スケジュール) K 社の数百種類にも及ぶ製品数の多さ

##### 設問 4 (14 点:7 点×2)

- ① プロジェクトスコープを最小化し必要なシステム機能を確実に稼働させるため
- ② 分析機能の活用には一定期間の履歴データがそろっている必要があるから

#### 問 2 (50 点)

##### 設問 1 (6 点)

コストや要員確保に関する X 社のリスクが低減できる。

##### 設問 2 (12 点:6 点×2)

- (制約条件) 新機能の提供時期が決まっており、大きな手戻りが許されないこと  
(考慮すべき点) 請負契約での実績がなく遂行能力が不明なこと

##### 設問 3 (16 点:(1) 6 点, (2) 4 点, (3) 6 点)

- (1) 工程の完了時点で品質評価を行い成果物の品質を確認すること
- (2) 瑕疵担保責任に基づく不具合対応
- (3) 発注者側には指揮命令権がないので A 社の責任で業務を実施させる

##### 設問 4 (16 点:(1) 8 点, (2) 8 点)

- (1) A 社が担当した成果物のレビューは、すべて X 社メンバがレビューアとなって実施していたこと
- (2) A 社のマネジメントが、責任者として現場の状況を正しく把握できていない。

#### 問 3 (50 点)

##### 設問 1 (12 点:(1) 8 点, (2) 4 点)

- (1) 単体テスト中に発見された誤りを修正した後の内部設計書で、結合テストケースを作成するため
- (2) 共通モジュールなど、他に影響するバグ

設問 2 (18 点:(1) 6 点, (2) 2 点×2, (3) 4 点×2)

(1) 不十分な単体テストが以降の工程に影響を及ぼすため

(2) a : ホワイトボックス

b : ブラックボックス

(3) (分析対象) 単体テストのバグ見逃し現象件数

(評価結果) バグの見逃し現象件数が減少していること

設問 3 (14 点:(1) 6 点, (2) 8 点)

(1) プログラムの改修によって影響を受ける範囲の大きさ

(2) 管理目標の上限を超えたバグの摘出と未修正のバグが大量に残っていること

設問 4 (6 点)

既存の内部設計書の改訂箇所や新規作成箇所の特典に漏れがないか

以上